

# さくら



令和6年9月9日(月)

## 心ひとつで



故 稲森和夫 (いなもり かずお) 氏は、京セラドームの命名権を持つ京セラ(株)の創業者です。京セラは1959年、従業員28名で創業しました。

「セラ」とは「セラミック」のこと。セラミックとは、焼き物(陶磁器[とうじき])を指しますが、京セラが扱うセラミックはファインセラミックというものです。これはスマホなど、さまざまな電子機器の部品に使われており、電子機器製造にはなくてはならないものです。また、包丁やハサミ、人工歯など、日常生活の身近な製品の素材としても使われています。

稲森氏は、一代でこの会社をグローバル企業へと成長させました。

稲森氏が掲げた社是(しゃぜ→会社経営の基本方針)は「敬天愛人(けいてんあいじん)」。常に公明正大、謙虚な心で仕事にあたり、天を敬い人を愛し、仕事を愛し会社を愛し、国を愛すると説明されています。

また、経営の原点は「心の経営」です。資金・信用・実績のない小さな工場から出発した京セラ。頼りになるのは、技術と信頼できる仲間。会社の発展のために社員全員で全力を尽くす。会社も全力で社員の信頼に応える。仲間同士が心を一つにし、信頼しあい、私利私欲のためではなく、この会社で働いてよかったと思える会社づくりをしてきたといいます。

「心の経営」は皆さんの学校生活にもいかせるのではないのでしょうか。

「仲間同士が心をひとつにし、信頼しあい、自分のためではなく、このクラス・この学年・この部活動で頑張れてよかった」と読みかえてみてはどうでしょうか。

現在、合唱コンクール、文化発表会、体育大会、部活動の大会やコンクールに向けての取組が進んでいます。それぞれの目標達成に向け、今一度仲間との心のつながりの大切さに目を向けてみましょう。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

